

こうとう民報

2019年3月号 No.172

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 とうとう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155 FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/

9条守れ！消費税増税ヤメロ！



2・25怒りの江東区民集会

2月25日、区民要求実現大運動実行委員会主催で「2・25怒りの江東区民集会」が猿江公園で開かれました。この区民集会には、大運動実行委員会に参加の江東区労連、東京土建江東支部など、

（重税反対区民集会） 消費税10%増税は中止を！

今年で50回目となる「3・13重税反対江東区民集会」は全国の統一行動と連帯して、13日に総合区民センターで1000人余が参加して開かれました。集会後、江東東税務署、西税務署まで分かれてデモ行進し、統一申告を行いました。

集会は、区労連の中村元事務局長の開会挨拶、東京土建江東支部の油屋正孝税金経営対策部長の主催者挨拶。日本共産党・吉良よし子参院議員、東部法律事務所・大江京子弁護士、東部会計士江川事務所・山崎哲税理士から来賓挨拶があり、日本共産党・小池晃参院議員のメッセージが紹介されました。

猿江公園での集会後、亀戸の文泉公園までデモ行進



集会の後、東税務署までデモ行進

13団体220人が参加しました。集会後、参加者は亀戸の文泉公園まで「安倍9条改憲反対」「9条を守ろう」「消費税増税反対」などアピールしました。

（門前仲町交差点で、深川9条の会） 古今亭菊千代師匠らが 「3000万人署名」を訴え

3月3日、門前仲町交差点で「安倍首相の憲法改憲に反対しましょう」「深川の地を再び戦争で汚してはならない」と古今亭菊千代師匠ら「深川9条の会」のみなさんが次々真備町ではマップを全戸配布していたが見ていない住民も多かった」と反対。



亀戸2丁目公園で 127筆 江東大運動実行委員会

3月17日には、亀戸2丁目公団住宅で区民要求実現江東大運動実行委員会のみなさんが、事前に「署名用紙」を配布した各戸を訪問しました。29人が参加し、127筆の署名が寄せられました。参加者は「外国人の居住者が多いが、趣旨を話すと心よく署名してくれた」との感想も寄せられました。



広場に集合し、打合せをするみなさん

区長提案の2019年度一般会計予算の総額は約2054億円です。これに対し、日本共産党区議団は23年連続となる「予算修正案」を提出しました。区財政は今年度までに1231億円もの溜め込みがあり、さらに93億円も積み増しするという予算です。

共産党区議団 23年連続の予算修正案提出

予算の修正案は、防災マップ、洪水・高潮ハザードマップの全戸配布などの防災対策や子どもの医療費の18歳までの無料化、学校給食費の無料化など38項目で、区長提案の93億円の基金積み増しではなく、その一部の約29億2千万円を活用するものです。議会運営委員会では、財源

料化などは事業の継続性が財源上困難との理由で反対。立憲民主・防災マップの全戸配布について、「アプリで十分ではないか」「倉敷市の

いよいよ春本番。早咲きの昨年と違って爛漫たる桜の下で花見の宴が行われるでしょう▼10日、江東区文化センターで

「東京大空襲を語り継ぐつどい」が開催。1971年の都教組江東支部編「炎の街」出版記念集会以来、02年から開設の戦災資料センターと共同して行われてきました。今回は、映画化された「小さいうち」の中島京子氏が「戦争を知らない世代にとって、被災の証言は記憶の土台」と強調していました▼統一地方選挙も本番。1970年代の9都府県の革新自治体の誕生で、沖繩返還や老人医療費無料化など国政を動かしましたが、公明党や社会党の右傾化で転覆。今度こそ、国いなるの自民、公明を中核とする「オール与党」体制を打ち破るチャンスにしたいものです▼「戦争の世紀」といわれる20世紀初頭、ドイツのクラウゼヴィッツ将軍は「戦争は……他の手段（軍事力）による政治の実現である」と喝破。この規定は、社会保障を削って軍事費を増大し、地方自治を破壊して中央集権を強化する「アベ政治」にピッタリでしょう▼18日、沖繩でジュゴンの死骸が発見。「のびやかなからだで黒潮に乗って/ジュゴンよめぐれ沖繩の海を/豊かな海と平和を守れ」、江東区の母子像建立の発起人の故永井和子さんの詩です。建立された82年、日本共産党区議団（提案者・佐藤巖区議）は「江東区非核平和都市宣言」の制定を提案しました。平和とくらしを守るためにこの党区議団の前進こそ――

改訂 江東風土記抄 (8)

第1部 深川北西部 清澄庭園

池に張り出した涼亭をのぞむ



江戸時代には、この土地は久世大和守の屋敷で、紀伊国屋文左衛門の別荘もこのあたりにあったようです。1876(明治9)年ごろ日本の郵便制度をはじめた前島密が住み、池の鴨をめでたといひます。

1878(明治11)年、三菱の岩崎弥太郎が、付近もあわせて約3万坪(10万㎡)の土地を買い造園、2年後に「深川親睦園」として社員の慰安にも使いました。

弥太郎の死後、弟の弥之助が和洋両館を新築。建坪315坪の日本館は今の大正記念館のあたりにあり、洋館は英人コンドルの設計で782坪の豪華な建物でした。

1920(大正9)年、東南計3千坪を公開して清澄遊園とします。関東大震災で大きな被害を受けた西半分は売却し、破損の少なかった東半分を公園として東京市に寄付しました。

大正記念館は、大正天皇の葬場殿を移築したものだが、戦災で全焼。1953(昭和28)年に貞明皇后の葬祭殿の用材を使い、139坪の記念館を再建しました。

庭園の池や道を縁どる石は、岩崎が三菱汽船で全国から奇岩珍石を運ばせた、他に類のない名石です。

池につきでた涼亭は、1910(明治43)年に英国のキッチン一元帥が来日したときに建てたもので、震災や戦災にも無事でした。

涼亭への途中の四阿は、俳号を千山という紀伊国屋文左衛門が別荘を千山亭としたというので、その名を残しています。

庭園の西側で洋館があったところは、東京都の公園になり、南側には図書館があります。深川図書館は、日比谷図書館に次ぐ古い公立図書館で、1909(明治42)年の創設。大震災で焼失。1928(昭和3)年に新築され、特に江東の歴史に関する文献が集められています。

(注)東京大空襲の際、庭園の池に逃げのびた多くの命が救われました。

★ 行事日程 ★

○4月5日(金) 14時、
◆江東区政を考える会記者会見

①「江東区政・区議会に対する見解と要求」

②区長・区議会議員予定候補へのアンケートについて
(江東区文化センター3階教材制作室)

○4月14日(日)
江東区長・区議選挙告示

○4月21日(日) 投票日



山口二郎氏(円内)

政治の特徴と日本の政治の危機、経済政策の破たん状況から7月の参院選挙の意義、立憲民主党や国民民主党など野党の動きや背景、野党協力のポイントなど多岐にわたる資料をスクリーン

「アベノミクスは有害以外の何ものでもない」「統計データ不正問題は政権内部の規律の崩壊を示している」「ウソがばれても開き直る」「国家が私物化され、もう近代国家ではなく退化している」「貿易赤字に転じ、大企業が儲かればいいという政治や経済は大失敗と言いたい」と、データを示しながらの分かりやすい説明が続きました。

増山氏は、「子育て＝教育」と思っている人が少なからずいる中で、「子どもが健やかに育つためには何が必要か」と問いかけました。



新婦人江東支部が大会

3月17日、江東区文化センターで新日本婦人会第35回江東支部大会が開かれ、代議員と評議員45人が参加しました。

大会は議案提案の後、各班・地域・職場から13人が発言、充実した討論が行われました。

2月に県民投票が行われた沖縄に行った会員は、辺野古新基地建設反対の抗議行動に参加した経験

「参院選で野党多数を実現、安倍政治ストップ」

山口二郎氏が記念講演 市民と野党の共闘を強調

江東革新懇 2019年総会

江東革新懇は3月6日、2019年総会を総合市民センターで開催し48人が参加しました。経過と情勢報告、決算・予算・監査報告と活動方針を採決し、5人の代表世話人や20人以上の世話人らを選出した後、法政大学教授の山口二郎氏が「2019年を展望する」と題して記念講演を行いました。

政治学者の山口二郎氏は冒頭、「2年前にも呼ばれて講演したが、安倍政治の下、日本は2年前より悪くなっている。こんな人物がよく総理大臣をやっているなど、情けない思いでいっぱい」と口火を切りました。



「あそび」が必要と講演する増山均氏

「子育て＝教育」と思っている人が少なからずいる中で、「子どもが健やかに育つためには何が必要か」と問いかけました。

3月17日、江東区文化センターで新日本婦人会第35回江東支部大会が開かれ、代議員と評議員45人が参加しました。

大会は議案提案の後、各班・地域・職場から13人が発言、充実した討論が行われました。

2月に県民投票が行われた沖縄に行った会員は、辺野古新基地建設反対の抗議行動に参加した経験

「江東・子どもの健やかな育ちを支える区民の会」学習会
「あそび・遊び」は子どもの主食！

3月3日、亀戸文化センターで、「あそび・遊び」は子どもの主食！をテーマに学習会が開かれ、早稲田大学名誉教授・増山均(ましまやまひとし)氏が講演、43人が参加しました。主催は「江東・子どもの健やかな育ちを支える区民の会」。



講演する中島京子氏(円内は早乙女勝元氏)

東京大空襲・戦災資料センターは3月10日、開館17周年にあたり「東京大空襲を語り継ぐつどい」を江東区文化センターで開催。87歳になり今年6月で館長を後継に託す早乙女勝元氏が挨拶で、記録と資料を残し継承する重要性を訴え、作家の中島京子氏が「記憶を受け取る想像力の鍛え方」と題して講演。350人が参加しました。

東京大空襲を語り継ぐつどい

